



1201100596672



53

52

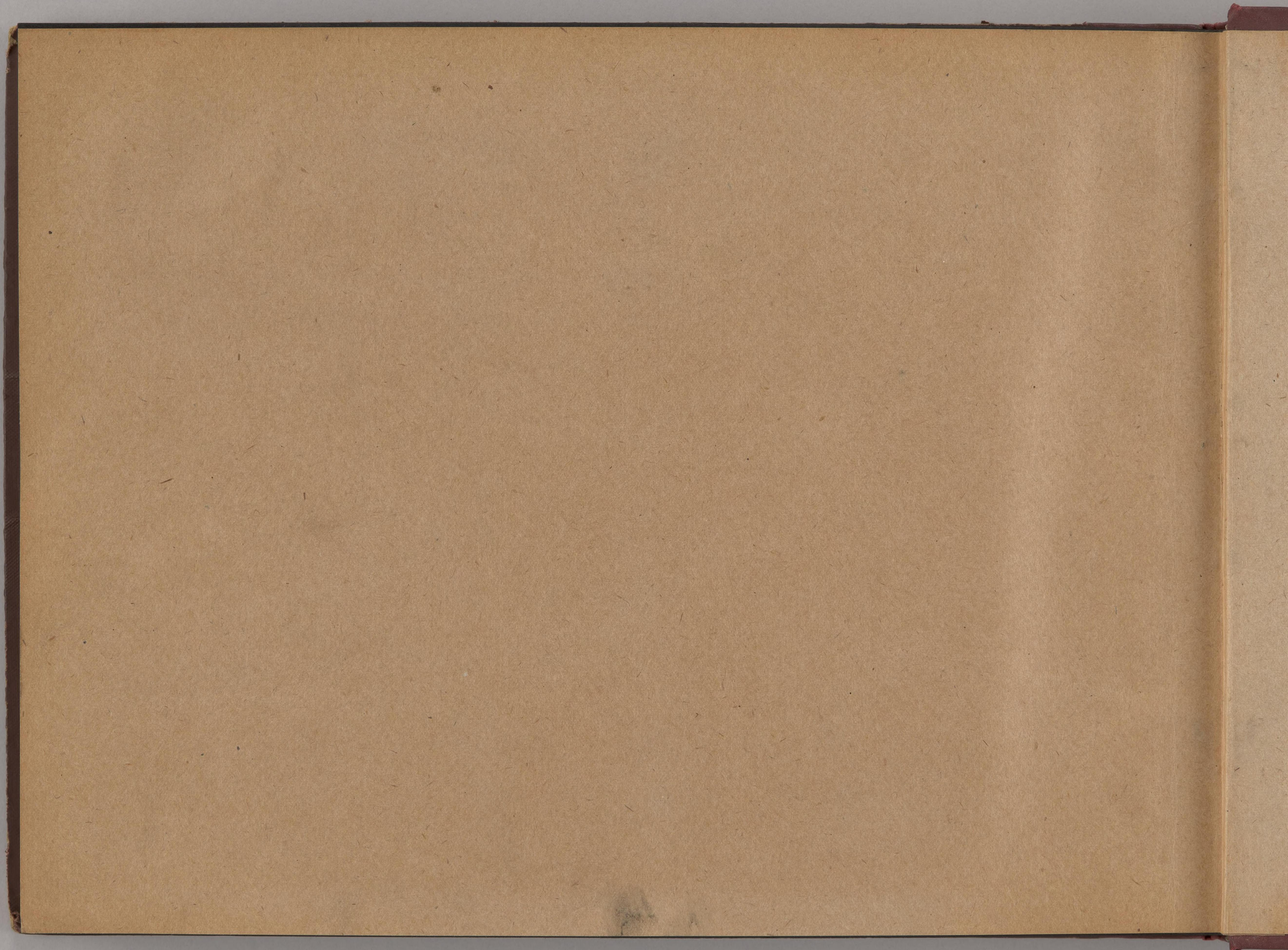


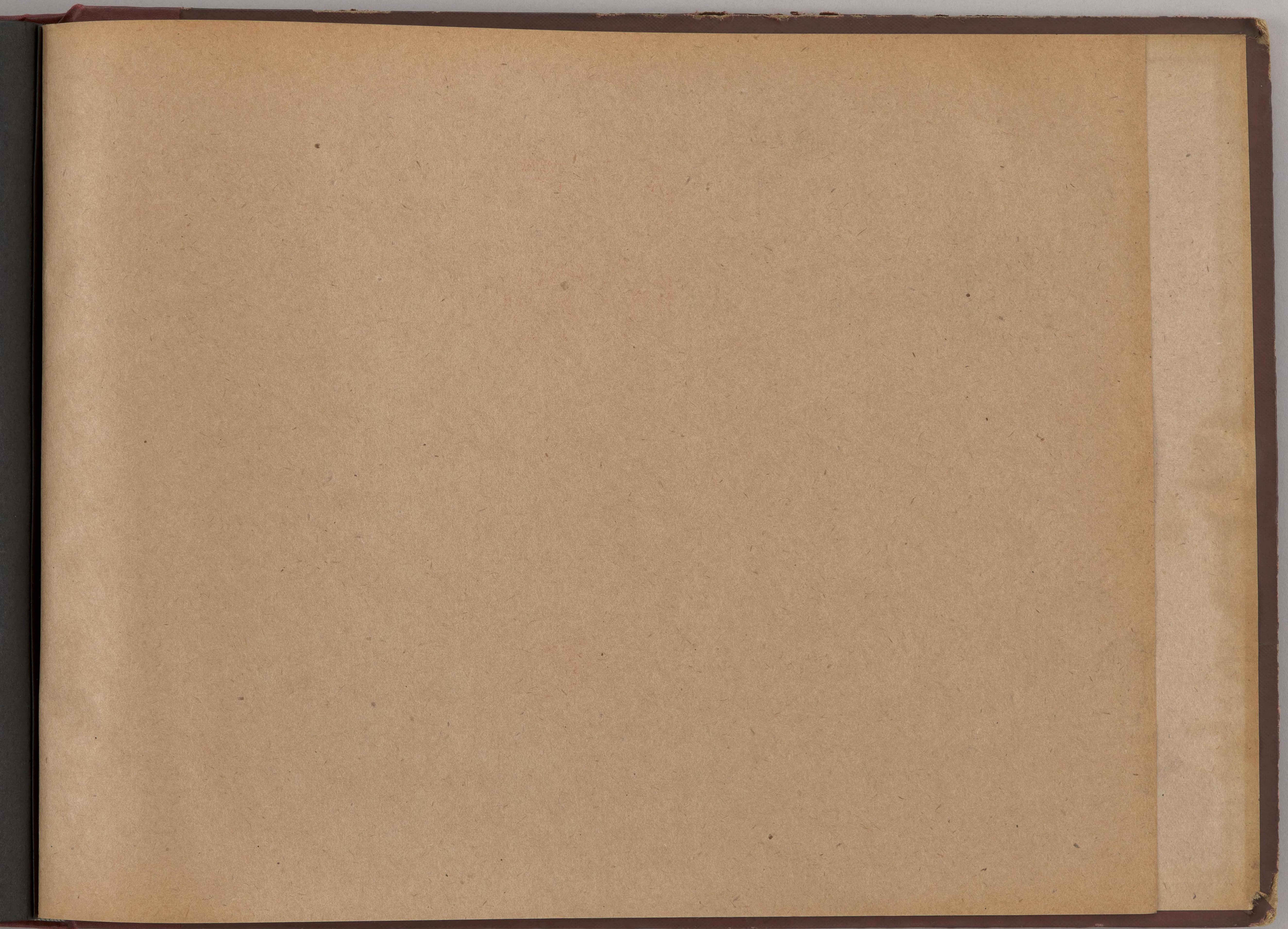
E

禁電子式複写

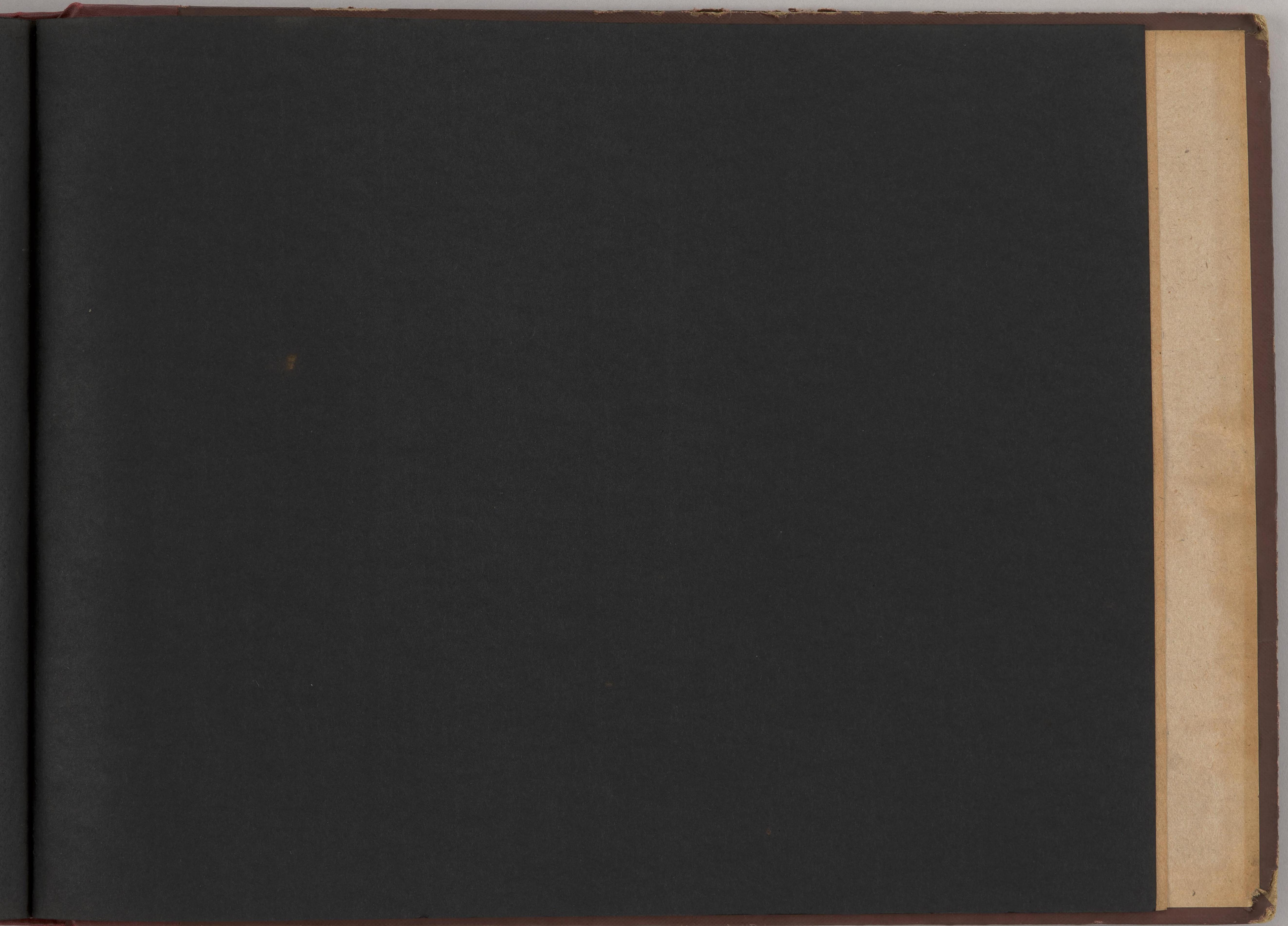


















同盟寫眞 内地ニヨリス 第一一三號
◎漢口陥落を祝して輝く軍艦旗行進
（東京）十三年十一月一日
三日の軍艦旗制定五十周年記念と祝漢口陥落
とを兼ねて横須賀海兵團一千七百名の帝都祝
賀行進が一日行はれた
寫眞は宮城前にて



◎若人一萬二千祝勝の武装行進
東京府主催都下中等學生の漢口陥落祝賀武装
行進は一日早朝曇り空の冷風を切つて若人の
意氣を見せて行はれた。
寫眞は宮城遙拜



寫眞は ◎陸軍新銳機（二日付朝刊より掲載可）
一、上から (1) 新戦闘機 (2) 新戦闘機 (3) 新軽爆撃機
機 (4) 新重爆撃機



同盟寫眞

内地ニユース

第一一四號

◎海軍ベニ部隊第二陣壯行會

(東京) 十三年十一月二日
 海軍從軍ベニ部隊第二陣の壯行會は二日正午
 本交社に於て野田普及部委員長主催で催され
 た、參會者は長谷川伸、土師清二、湊邦三、
 中村武羅夫、野村愛正、甲賀三郎、關口次郎
 小山寛二氏等の作家達に映畫監督衣笠貞之助
 清瀨英次郎氏等先發の十名である

◎ベルイ使節團離京

滞日一ヶ月、日秘親善に大きなエボツクを劃
 した秘露經濟文化使節團フェンテ團長の一行
 は愈々懐しい日本にアデューして二日午後零
 時半東京驛發臨港列車で離京午後三時發實解
 纜の淺間丸で歸國の途についた。
 寫眞は東京驛にて



同盟寫眞 内地ニユ
十一月二日
陸軍省貸下！
支那大陸狹しと活躍する陸の新鋭機





◎縁りの記念日に血染の軍艦旗
 武漢陥落して長江制覇の軍艦旗ひるがへる秋
 三日明治節の軍艦旗制定五十周年記念日を迎
 へ寧海函獲と身を以つて敵艦橋頭に掲げられ
 た軍艦旗を守り任務を果した山下勝一等水
 兵は今戦傷の身を佐世保海軍病院に養つてゐ
 るがゆかりの記念日にこの血染の軍艦旗がそ
 の病床に贈られ同時に○○○の記念軍艦旗と
 して永遠に武勳を傳へることゝなつた
 寫眞は佐世保鎮守府発行のポスターと血染め
 の軍艦旗を死守した山下一等水兵



同盟寫眞
 ◎一支那内地ニユース 第一一三號
 征服に非ずして協力一
 近衛首相の放送に全國に湧く感激
 (東京) 十三日十一月三日
 三日明治の佳節、一週間に涉つた武漢攻略の
 祝賀行列も昨日で終り長期建設への覺悟を自
 ら新にするこの朝ラヂオにより帝國の方針を
 中外に宣し國民に呼びかける近衛首相の吼
 たる演説が首相官邸から放送された。
 高良は首相の放送



◎輝く軍艦旗制定五十周年記念式
けふ三日菊花薫る明治の佳節、武漢陥落祝賀
の歡呼愈々高く意氣また一入深く軍艦旗制定
五十周年記念日を迎へ海軍陸戦隊の帝都行進
は軍艦旗の榮えを輝かし無敵海軍の威容を誇
示して明爽と練り擴げられた。
寫眞は陸戦隊銀座行進



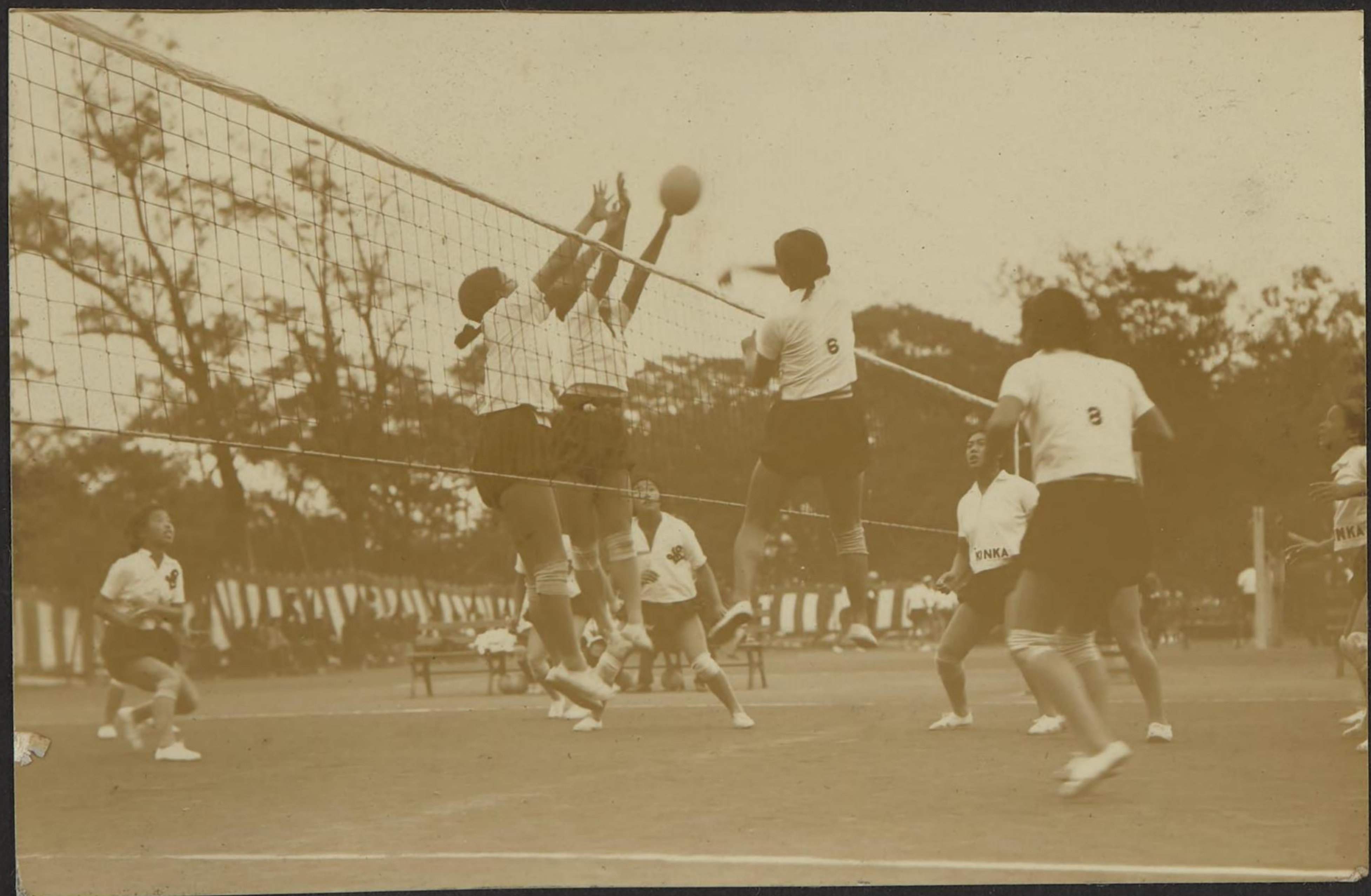
同盟寫眞
 ◎亭製下内地ニ
 一東京一十三年十一月三日
 聖戰下に再び迎へたけふの佳節に明治神宮大
 祭は神域で一入隊に執行された
 寫眞は一、各大臣參拜

第四十七號



◎國民體育大會第一日
 全國五千萬人動員目指す全日本体操聯盟の東京に於ける体操祭は三日午前十時半から九段靖國神社境内廣場で國民精神作興體育大會の一部門として行はれた。
 寫眞は靖國神社にて

◎全日本排球選手權大會第一日
 三日濱松町コートに於いて開催された
 寫眞は愛知淑徳對錦華の試合



寫眞
 内地三二一八
 第一一三號



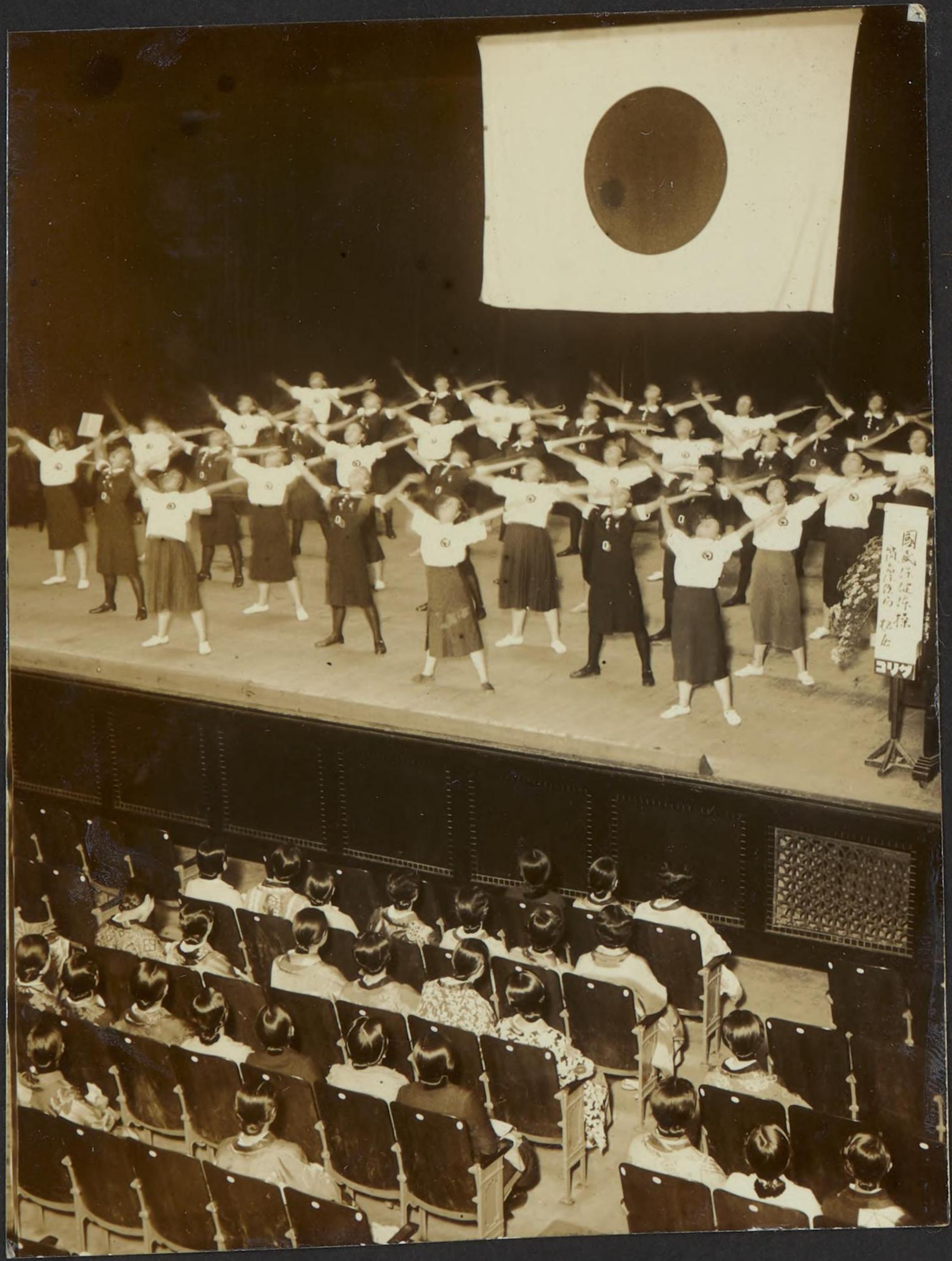
同 皇 寫 眞 内地ニユース 第一一三號
 ◎ 聖 上 行 幸 を 仰 ぐ 帝 室 博 物 館
 (東京) 十三年十一月四日
 昭 和 御 大 典 を 奉 祝 申 上 げ て 工 費 三 千 七 百 萬 圓
 を 以 て 日 本 風 の 豪 華 な 美 術 の 殿 堂 と して 上 野
 に 起 工 し た 帝 室 博 物 館 は 六 ヶ 年 を 閱 して 昨 秋
 竣 工 と 同 時 に 獻 納 し 奉 づ た の で あ つ た が 畏 く
 も 天 皇 陛 下 に は 來 る 十 日 昭 和 三 年 十 一 月 十 日
 即 位 の 大 典 を 舉 げ さ せ ら れ て か ら 丁 度 十 周 年
 の 御 記 念 申 上 ぐ べ き 佳 辰 を 卜 さ れ て 親 し く 行
 幸 、 東 洋 一 を 誇 る 同 館 並 に 輝 か し い 歴 史 を 物
 語 る 陳 列 品 等 を 天 覽 あ ら せ ら れ る と 承 る
 寫 眞 は 竣 工 成 つ た 帝 室 博 物 館



◎自轉車競技始まる
自轉車全日本選手權大會は四日午前十時から
神宮競技場に於いて開催された
寫眞は入場式



同盟寫眞 内地ニニルス 第一一五號
 ◎白衣の勇士新宿御苑拜觀
 (東京) 十三年十一月五日
 長き遊りでは五日から来る十二日までの間に
 全傷病將兵の代表として陸軍々醫學校並に東
 京第一、第三兩陸軍病院に療養中の白衣の勇
 士數千名に對し新宿御苑の拜觀を差許された
 寫眞は御苑内台灣館前にて(宮内省貸下)



◎馬上の板垣陸相
 歴代の陸相の唯一の運動法は早朝官邸わきの
 馬場で愛馬に一鞭あてる事だ、板垣陸相の
 頃出廳前に毎日官邸の馬場で愛馬一銀嶺に
 一鞭あて爽快な朝の冷気を胸深く吸つて一汗
 かいてから身も心も軽々と登廳する
 寫眞は官邸馬場にて
 ◎婦人厚生会の夕
 日本厚生協會東京市共同主催の一婦人厚生会
 夕は四日夜神宮外苑日本青年館で盛大に開
 かれた。寫眞は厚生会体操



同盟宮内省 十月六日
 國民精神作興碑育大会 最終日
 最終日は枚方宮内省殿下台臨のもとに午前
 八時から開始せし行軍競争 手榴弾投擲競争
 技、擔架継ぎ、戦闘教練等 國防警察
 が最初に行われ 陸上競技に移った。
 写真真は 戦闘教練





一、防共三國協定一周年記念

三國防共協定一週
 週年に當る六日午八時
 日独伊親善協会は、この日を記念する為
 都下各大學、女學校の代表者三々六六宛を以
 め各校旗を所持し靖國神社の前に集り、
 防共祈願と防共樞軸強化祈願奉告を行つた。
 写真は靖國神社の裏にて



同盟為眞 内地ニヨリ又 第一一 號
 ◎都下男女中等學校生徒神宮遙拜式
 (東京十三年十一月七日)
 皇軍の武威普く全支を制壓、廣東、武漢三鎮
 相次で陥落した後の意氣深き第八回東京府主
 催明治神宮奉拜式は高松宮殿下の台臨を仰ぎ
 奉り七日午前九時二十分から秋色濃き代々木
 練兵場に都下十萬の男女中等學校生徒を總動
 員して盛大に舉行された。
 高松宮殿下の御巡閱



◎防共協定記念祝賀會
 日獨伊防共協定成立一周年の六日午後五時三
 田の伊太利大使館に於いて秩父宮、同妃兩殿
 下の台座を仰ぎ伊太利大使主催、記念祝賀會
 が盛大に催された。寫眞は伊太利大使に握手を賜
 ふ秩父宮殿下（御右は同妃殿下）
 ◎聖明治神宮に奉納
 四日正午神宮宇治山田を出發、沿道一萬余人
 の健兒に捧持されつゝ夜に日をついで帝都へ
 幕進の戦勝祈願聖矛は六日夜目出度く明治神
 宮社前に到着、神前に奉安された
 寫眞は社前にて



同盟寫眞

内地ニユース

第一一四號

◎シヨツプガールの分列式
 一東京一十三年十一月八日
 職場の婦人千五百名が兵式訓練や分列式を行
 つて大和撫子の意氣を示さうと八日の公体を行
 官の査閲を受けた。寫眞は薙刀体操

◎商店体操講習會
 商店法實施に伴ひ商店従業員の余暇善用には
 商店体操を唱導することとなり八日から一週
 間デパート、商店から体育指導者二名宛合計
 百五十名を集め品川の府立聾啞學校で講習會
 を開催した。寫眞はその講習會



同盟通信社写真部十一月八日

○

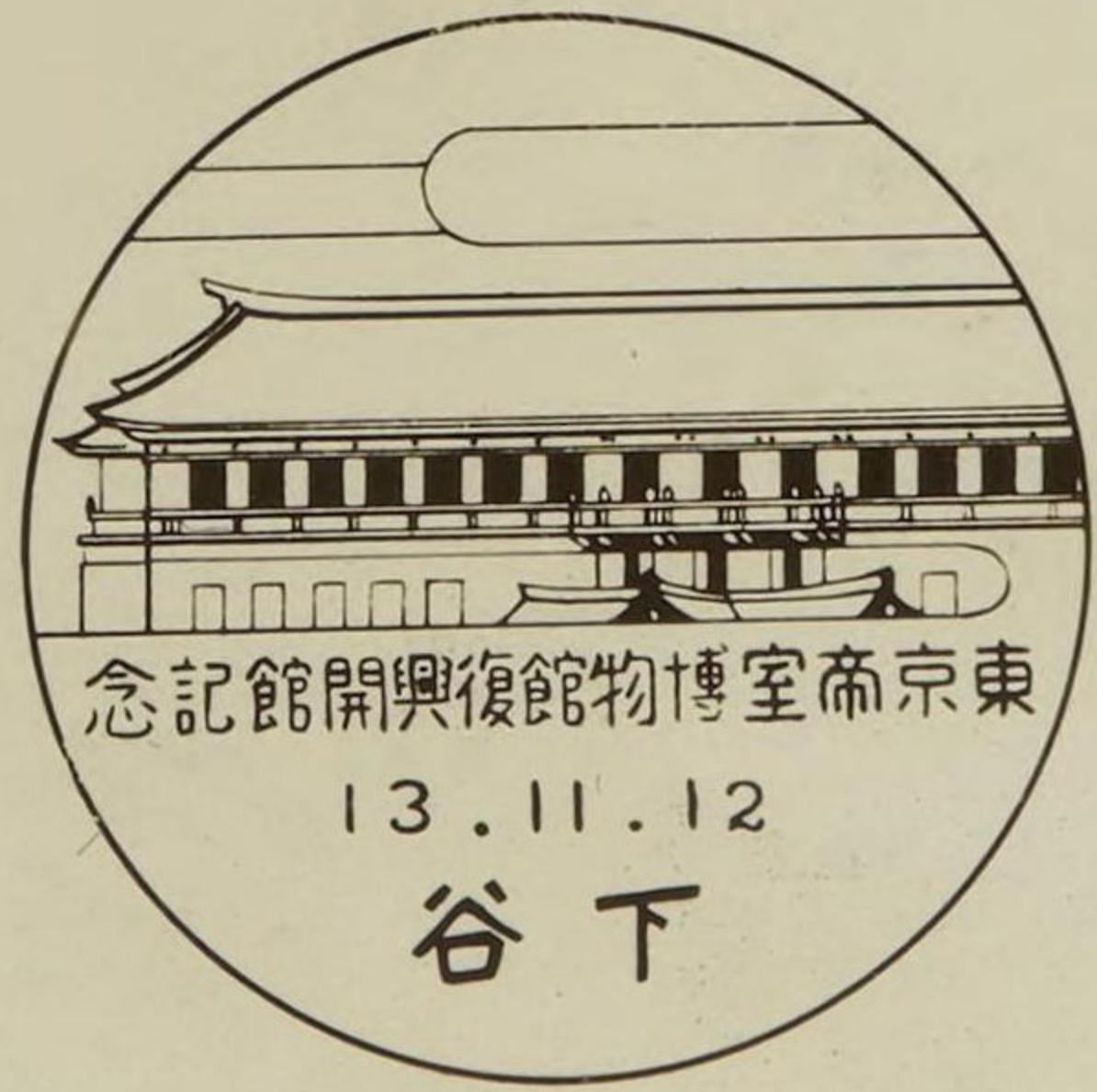
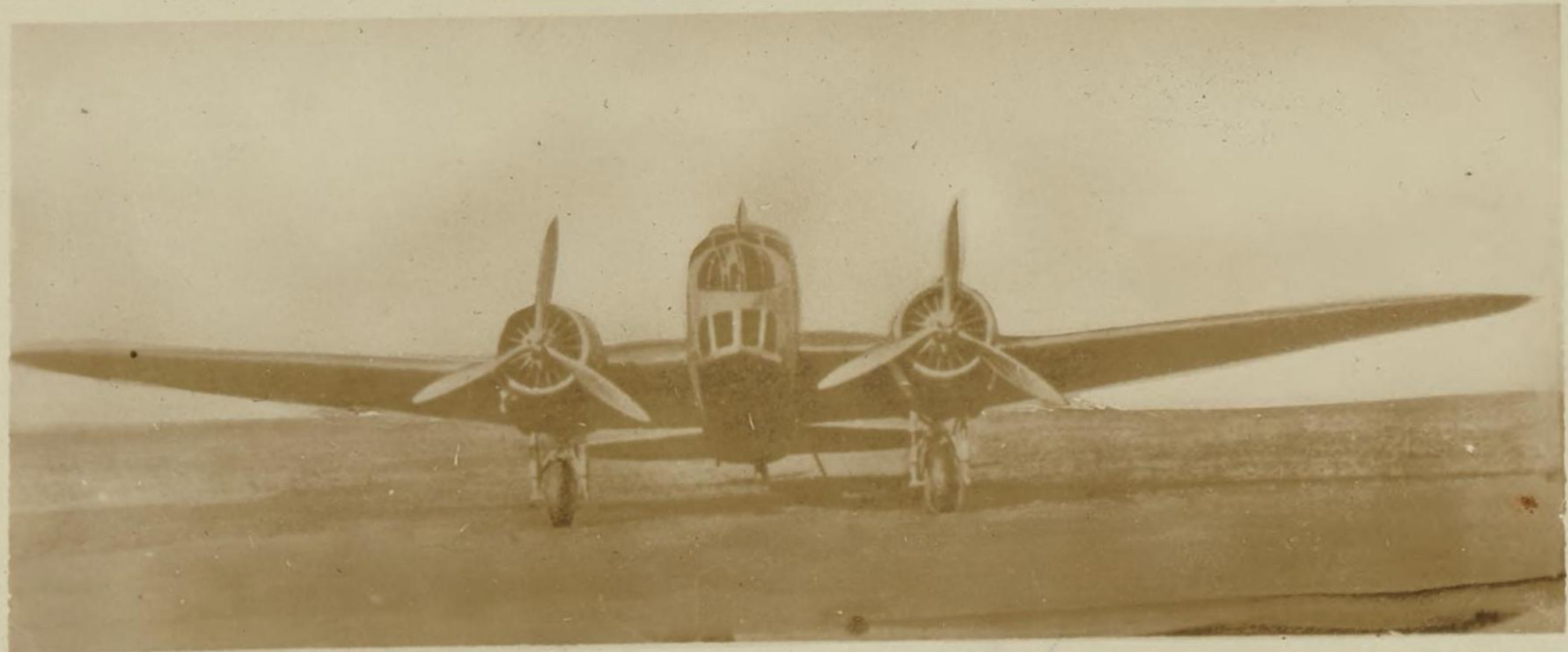
廣東上落の日の

海軍機撮影

海軍省代天下



◎タッキー一行戦勝祈願
 SSK北支慰問部隊のタッキー、三田、市村
 等九名の一行は十二日出發に先立ち宮城送拜
 靖國神社を参拜戦勝を祈願した
 寫眞は二重橋前の一行
 ◎お米の審査會
 市産業局、東京聯合婦人會共同主催で九日朝
 十時半から芝區海岸通りの山田米店でお米の
 審査會を開いた。寫眞はお米の審査會



同盟寫眞 内地ニユース 第一一三號

◎伊太利訪日機飛ぶ

(東京) 十三年十一月九日

盟邦イタリーの訪日機一聖フランチェスコ

號は九日午前八時十八分(日本時間)モンテ

チエリオ飛行場をスタートし僅かに三日後の

十一日には南方コース一萬四千キロを突破、

晴れの帝都入をする、航空局からは到着後の

歓迎宴の際藤原長官から機長ルアルテイ少佐

に人形を搭乗員五氏に夫々扇子一本を贈るこ

どもなつた。

寫眞は聖フランチェスコ號 一、記念品

◎記念スタンプ三つ

伊太利訪日機東京着の日より出発の日迄次の

スタンプを押捺する、東郷公園竣工及び帝室

博物館開館記念スタンプも夫々發表された

寫眞は記念スタンプ

同題寫真

内地ニ於テ

第一一三號

◎望上博物館行幸

(東京)十三年十一月十日

天皇陛下には十日午前十時上野公園帝室博物館

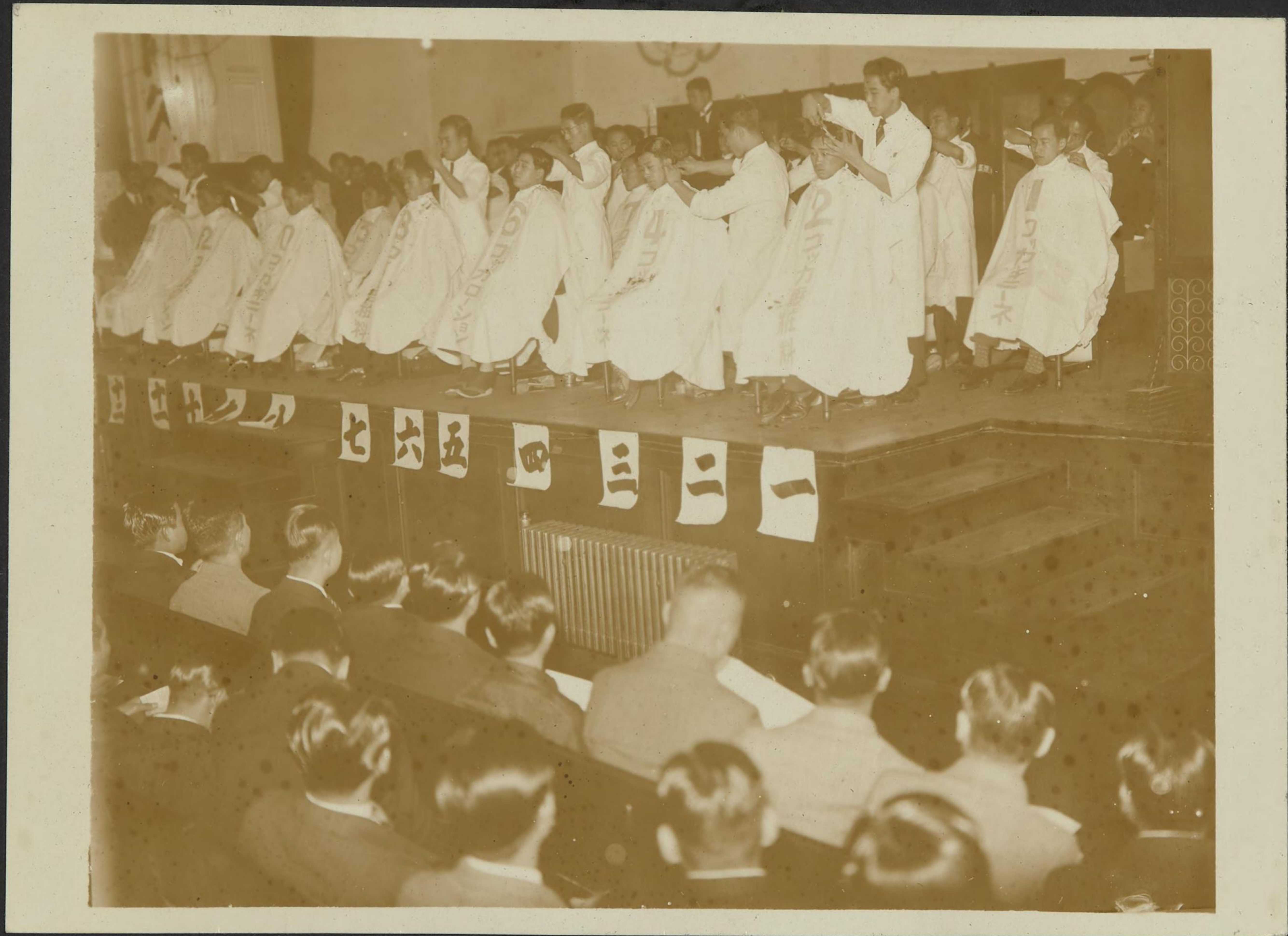
に臨幸、新装成れる東洋一の美術殿堂に蒐

藏された御物を始め、西洋重要美術品など千

八百一點の寶藏品を天覽遊ばされた

御正眞は彫刻室の法隆寺藏觀音菩薩立像天覽

(宮内省御賞下)

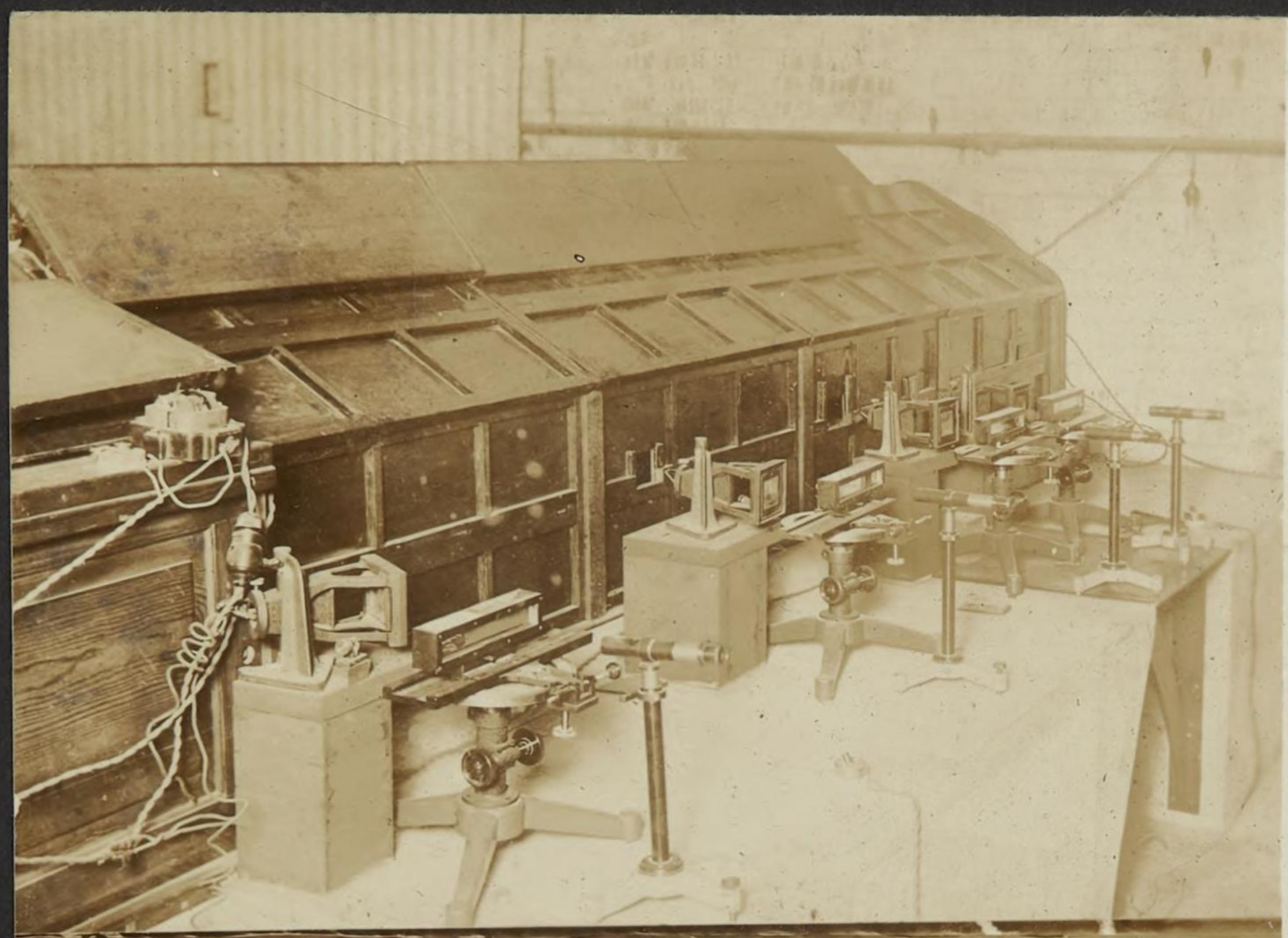


◎ 國際理容競技選手權大會
國際理容協會主催第十回は午前九時から淺草公會堂に於て都下理容業者を集め盛大に舉行された。寫眞は大會 國際理容競技選手權大會



同盟寫眞 内地ニハス
 ◎米國を以テカサ豪華版
 (東京) 十三年十一月十一日
 來春開かれる紐育萬國博覧會に日本館を飾る世界
 一の絹の大壁掛と漆の大衝立が近く完成する
 寫眞は大壁掛と大衝立

第一一三號



◎精密距離測定器
 特殊な光線を應用する精密な距離測定器が商
 工省度量衡検定所長渡邊義工學士に依つて完
 成された同器は〇。〇一ミクロン（ミクロン
 は一兆の千分一）まで正確に測定され地塊の
 伸縮變化の精密測定を必要とする我が地震學
 上劃期的な貢獻である
 寫眞は渡邊學士と測定器



同盟寫眞 内地ニユース 第一一五號

◎少年警官入所式
 (東京) 十三年十一月十二日
 銃後帝都治安維持の第一線に立つ警視廳少年
 警察官七十四名の入所式は十二日午前十一時
 から芝區田村町の警視廳警察練習所で行はれ
 た。寫眞は白石主事の訓示

◎全國學務部長會議
 御下賜金三百萬圓を基本に民間軍人援護團體
 を統合し官民協力の下に設立された恩賜財團
 軍人援護會の趣旨徹底のため厚生省では十二
 日午前十時より全國學務部長會議を招集した
 寫眞は木戸厚相の訓示



同盟写真部十一月十五日発行

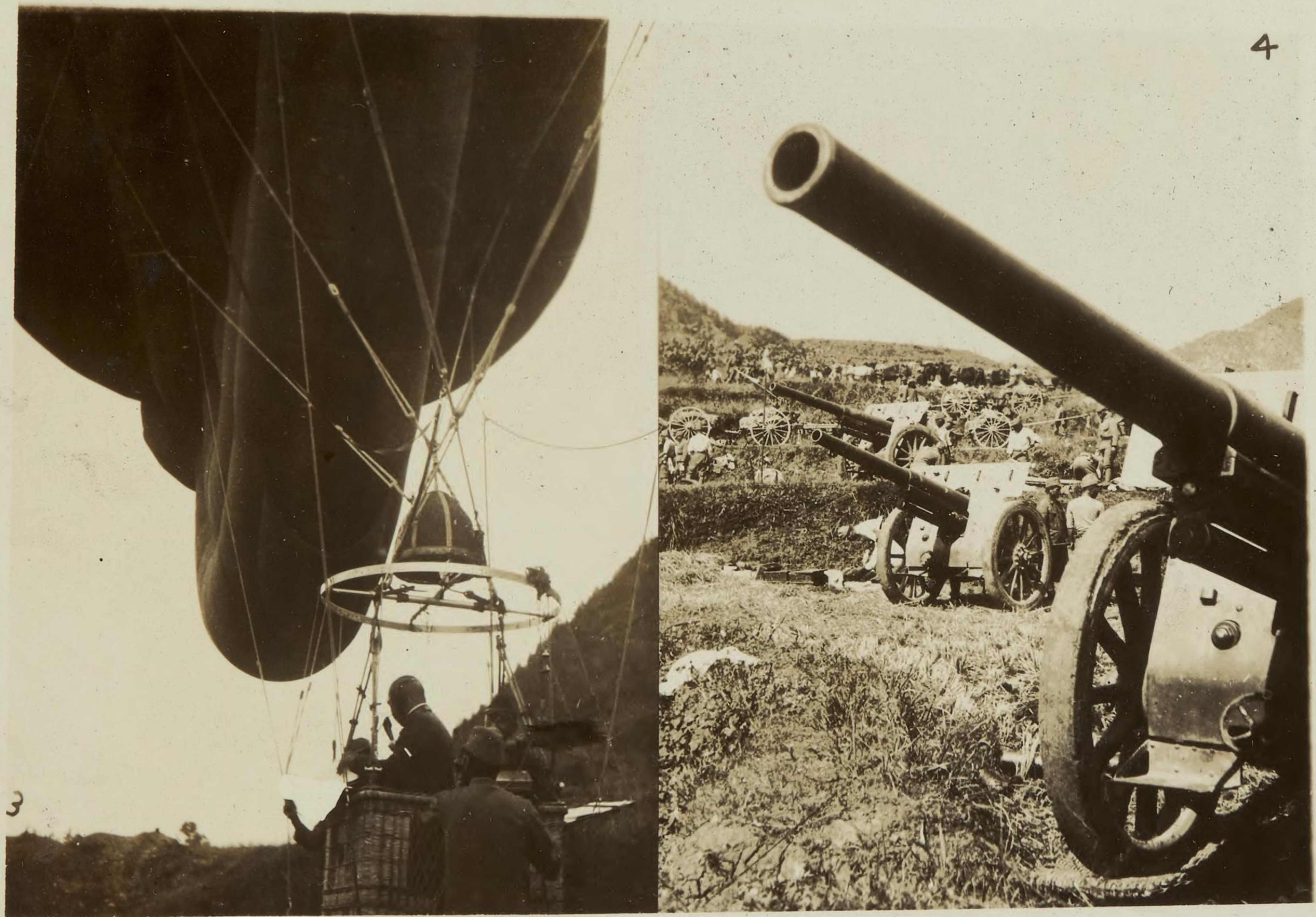
一、関東大学蹴球リーグ東大対早大戦

十二日午右一時から神宮競技場にて早大失蹴
 で開始東大の速攻に激戦と云ひビッグゴールを
 一この内定谷を曲豆かに盛つて大接戦の末二二
 後早大は稀宥の判定ゴールで敗れた。
 写真真は後半十二分東大ゴール成る



一、電送字真の誕生十年
 電送字真が昭和三年十一月の市大典を機として
 東京大坂間に初めて使用されてから十年目
 とついでに國産電氣通信工学の躍進を記念
 して電氣通信協会では十二日午後五時半から
 日比谷陶々亭に於て関係者の座談会を催
 した事其の座談会





同盟軍と真の敵十一月十三日

◎粵漢戦線より

一、〇〇を目標す〇〇巨砲隊の
 撃つ備成る

一、気球より敵陣地観測



同盟寫眞

支那ニユース

十一月十四日

◎ 中支戦線より

一、朝陽を浴びて敵を猛撃しつゝ、勇躍○○上陸地點へ進む○○部隊（新堤附近）

二、敵前上陸寸前勇躍の皇軍部隊（同上）



同盟寫眞 内地ニユリス 第一一四號
 ◎訪獨青少年團使命達成
 (東京) 十一月十四日
 進けき旅路をなく、重き使命果して歸國、帝
 都の第一夜を日本青年館に明した訪獨青少年
 團一行は十四日各所を歴訪した後正午一ツ橋
 學士會館の舞臺式に臨んだ。
 寫眞は首相官邸訪問、風見朝長に歸朝報告



◎保険制度調査會第一回委員會
 保險院所管の保險制度審議調査機關として設
 置せられたる保險制度調査會第一回委員會總會
 は十四日午前十時より學士會館で開かれた。
 寫眞は木戸厚相の挨拶
 ◎マイクに立つ兩黨幹事長
 政民兩黨合同東亞再建國民運動は十五日日比
 谷公會堂で第一聲を擧げるがこれに先立ち政
 友會砂田重政、民政黨勝正憲兩氏は十三日午
 后六時二十五分からA Kのマイクを通じて國
 民に呼び掛けた。寫眞は左から勝、砂田兩氏



同盟寫眞 内地ニユース 第一一五號

◎タキキ一行北支へ
 (東京) 十三年十一月十五日
 松竹少女歌劇北支皇軍慰問團々長岩田氏以下
 タキキ一行十八名は十四日午後九時四十分
 東京驛發皇軍慰問の途に上つた
 寫眞は東京驛にて

◎帝室博物館公開
 上野の帝室博物館は十五日から愈々一般に公
 開、女學校生徒の團體や一般觀覽者が早くも
 詰めかけて博物館では入場整理に大わらはで
 ある。寫眞は公開された内部



◎事變下二度目の七五三
 事變下に迎へた二度目の七五三のお祝日、遠
 い戦地のお父ちゃんに見せたい坊ちゃん、嬢
 ちゃん達で各神社は一ぱい。
 寫眞は靖國神社にて
 ◎救護員慰靈祭
 日本赤十字社では十五日午前十時から芝の日
 赤博物館講堂で第六回奉告祈念式並に今事變
 に派遣されて殉職した二十二名の救護員（内
 男子八名）の初の慰靈祭を行つた
 寫眞は慰靈祭



◎義宮様葉山へ
義宮様には小倉事務官以下を従へさせられ十
六日午前十時十分宮城御出門、同二十五分東
京驛發の電車にて同十一時二十七分逗子驛御
着葉山御用邸附屬邸へ成らせられた
眞は東京驛にて謹寫



同盟寫眞 内地ニヨリス
 ◎梁院長明治神宮參拜
 (東京)十三年十一月十六日
 來朝の中華民國維新政府梁行政院長は十六日
 午前九時東御車寄にて天機奉伺の記帳をなし
 同九時半明治神宮に參拜、更に大宮御所、秩
 父宮、高松宮、三笠宮、閑院宮、伏見宮各御
 殿に伺候、午后は近衛首相を始め、有田外相、御
 板垣陸相、米内海相、池田藏商相、多田參謀
 次長、古賀軍令部長を歴訪來朝の挨拶をな
 した。寫眞は明治神宮參拜の一行
 ◎日商定期總會(第一日)開催
 日本商工會議所第十一回定期總會第一日は十
 六日午前九時より東商議事堂で開會、伍堂新
 日商會頭を始め全國商工會議所代表委員その
 他關係者約二百八十余名出席した
 寫眞は伍堂新會頭の挨拶

同盟寫眞

内地ニヨリス

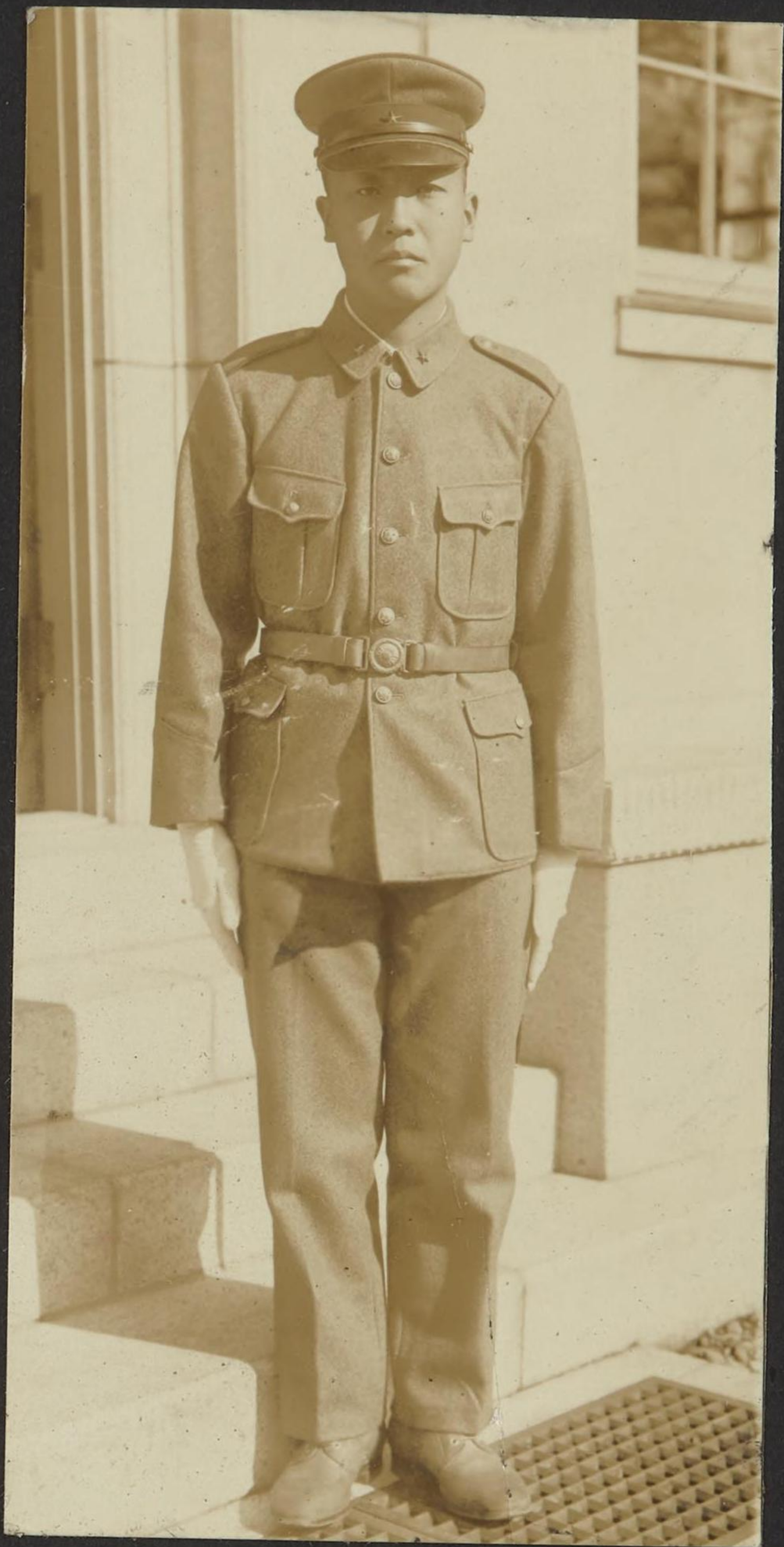
第一一五號

◎首相梁氏一行招待
 (東京) 十三年十一月十七日
 來朝中の維新政府梁行政院長の一行は十六日
 午後六時半から首相官邸に開かれた首相以下
 各大臣の招宴に臨み十七日は各所歴訪の後正
 午海相官邸の招宴に臨んだ。
 寫眞は一、首相官邸に於ける記念撮影

◎地下鐵青山線開通
 東京高速鐵道の一部青山六丁目、虎の門間の
 地下鐵がいよ十八日から開通される
 寫眞は青山六丁目隣



明日の皇軍を双肩に擔ふ東京陸軍幼年學校本
 ◎陸軍幼年學校卒業式



◎陸軍幼年學校卒業式
 明日の皇軍を双肩に擔ふ東京陸軍幼年學校本
 年度第四十期卒業生、賀陽宮邦壽王殿下を始
 め奉り百三十八名の陸の鳳雛に對する卒業證
 書授與式は十七日午前九時四十分から牛込戸
 山町の同校に於て舉行された
 寫眞は一、御卒業の賀陽宮邦壽王殿下
 一、優等生（向つて右から）谷正雄、木村宏
 御手洗正巳の諸君

同盟寫眞

内地ニユース

第五一六號

◎南支方面最高指揮官更迭

(東京) 十三年十一月十八日

病む古莊中將に代つて第五師團長から輝く南支方面最高指揮官に任せられた安藤利吉中將の留守宅を澁谷區千駄ヶ谷一の五六二に訪へば榮子夫人(四〇)は一久しいこと何んの便りも寄越しませんでした。が昨晩今度職が變つたからと簡単に葉書を送りました。ただ「オ」と語つた。

寫眞は

- 一、戦線に於る安藤中將
- 一、夫人榮子さん(留守宅にて)





同盟寫眞
 ◎梁院長松井大將と會談
 (東京) 十三年十一月十八日
 來朝中の維新政府梁行政院長等の一行は十八
 日朝靖國神社參拜と結城日銀總裁との會談を
 終へ午前十一時三十分大阪ビル六階の大亞細
 亞協會に前上海方面最高指揮官大亞細亞協會
 會長松井石根大將を訪問して來朝の挨拶を述
 べた。尙ほ十七日夜は陸相官邸に於ける招宴
 に参んだ。
 一、寫眞は梁院長靖國神社參拜



◎新海軍軍部普及部長着任
新に大本營海軍部報道部長、軍事普及部委員
長として海軍報道職線の第一線に登場して來
た金澤正夫少將は十八日午前九時半海軍省に
初登廳をなし野田前報道部長の紹介で報道部
員、普及部員に初對面をなし新任の挨拶を行
はれた。終つて新舊兩報道部長の事務引継ぎか行
寫眞は向つて左野田中將、右新任金澤少將

お断りーバルブ節約の國策の緑に沿つて
同盟寫眞 内地ニユース 第一一三號

◎皇太后陛下帝室博物館行啓

一東京一十三年十一月十九日
皇太后陛下には十九日新装輝やかしく開館し
た上野の帝室博物館に行啓、館内並に構内の
應舉館及御ゆかり深き九條公爵家記念館を御
遊覽あらせられた。
寫眞は山六屏風を御覽あらせらるゝ皇太后陛下
下(宮内省御貸下)



◎防共記念大武裝行進

◎防共記念大武装行進
日獨伊防共協定成立一周年を記念する防共協
定記念會並に愛國學生聯盟主催の第九回愛國
祭は十九日午後一時から代々木練兵場で多數
來賓を迎へ都下大學、専門學校學生一萬五千
餘名参加の下に盛大に舉行された
寫眞は荒木文相の閱兵式



同盟通信社東京部 十月廿一日

一、青年年學校生徒大会、
 去月廿四日、夜の士氣を鼓舞し、時局に対する認識を
 鞏固にする。東京府庁の田力町青年學校
 二万三千名の生徒を總動員し、午後九時か
 ら代々木練兵場で、田主青年年學校生徒大会
 が開かれた。山崎市長は甚だ小文相の齋園と生徒の活躍



◎ 梁院長、小橋市長訪問
 目下來朝中の維新政府行政院長梁鴻志氏一行
 四名は十九日午前十時五十分市役所に小橋東



◎ 梁院長、小橋市長訪問
 目下來朝中の維新政府行政院長梁鴻志氏一行
 四名は十九日午前十時五十分市役所に小橋東
 京市長を訪問し來朝の挨拶をなした
 寫眞は梁院長と市長の握手

一、王子惠一行明治神宮に参り拜
 日滿支經濟懇談会出席の在米中の
 王子惠一行は午前一時明治神宮に参り
 した。



一、二午の市民軍自転車大行進
 東京市体育課では市民体位向上と堅忍、
 持久の精神を養生する為午後七時市民体育
 自転車連来会を同催し、
 実地は明治神宮前表参道を一歩進

◎女辯護士激励の會

初の女辯護士田中正子、武藤嘉子、久米愛子
 さん達の歸れの門出を祝つて母校明大女子部
 同窓會では二十日午後一時から明大講堂で祝
 賀會を開いた。
 寫眞は左から田中、久米、武藤の三女史



◎木造家屋の防火壁実験
空襲下の都市防備施設として木造家屋の外壁
耐火改修を研究してゐる内務省防空課では二
十日午後二時から淀橋専賣局跡で木造二階家
火災実験を行つた。寫眞は實驗

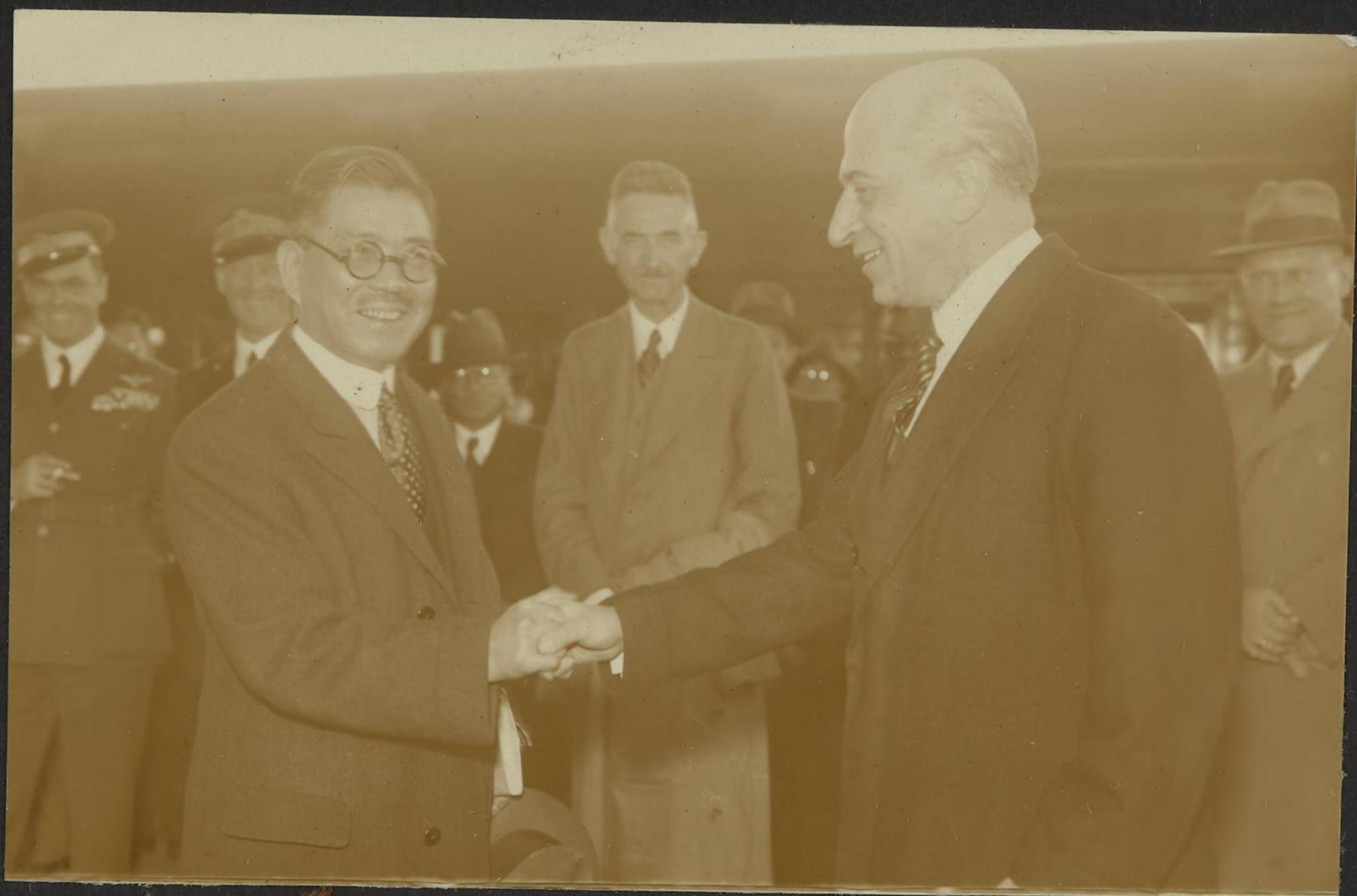


一 お断りーバルブ節約の國策の線に沿つて
 同盟寫真 内地ニユース 第五一八號
 ◎二百疊敷に富士の威容
 一東京一十三年十一月廿一日
 紐育桑港萬博出品の横の長さ三十七米・縦十
 米その經費三萬圓と云ふ世界一大きい富士山
 の寫眞原圖が出来上り二十一日六櫻社で公開
 された。寫眞は原圖の公開

◎白鳥新駐伊大使赴任

(東京)十三年十一月二十二日

白鳥新駐伊大使は親任以來近衛首相、有田外
相その他要路者と種々打合せを遂げつゝあつ
たが廿二日午後一時東京驛發列車にて西下、
廿四日神戸出帆の翌日丸で赴任の途につくこ
とゝなつた。
寫眞は見送りの駐日伊大使と握手する白鳥大
使(於東京驛)



同盟寫眞 内地ニユース
◎日滿支經濟懇談會
(東京) 十三年十一月廿二日

第一一三號



◎重工業の戦士罐焚き競技會
戦時下に重工業は晝夜を分たず多忙を極め、
燃料石炭の節約が叫ばれて居る折柄、全國各
工場に働く汽罐士の焚燒技術の熟練如何は燃
料の消費量に大きき關係を持つのでこれら汽
罐士の焚燒技術の進歩向上を期するため東京
工場協會汽罐協會主催、警視廳厚生省後援で
廿二日午前九時から東京芝公園陸上競技場で
第二回全國投炭競技會が開かれた
寫眞は投炭競技會



同盟寫眞

内地ニユース

第一十三號

（東京）十三日十一月廿二日

長期建設に對應し日、滿、蒙、支の緊密な經濟提携促進を目的とする日滿支經濟東京懇談會は廿二日經濟關係七國体共同主催で開かれた。寫眞は伍堂會長の開會の辭

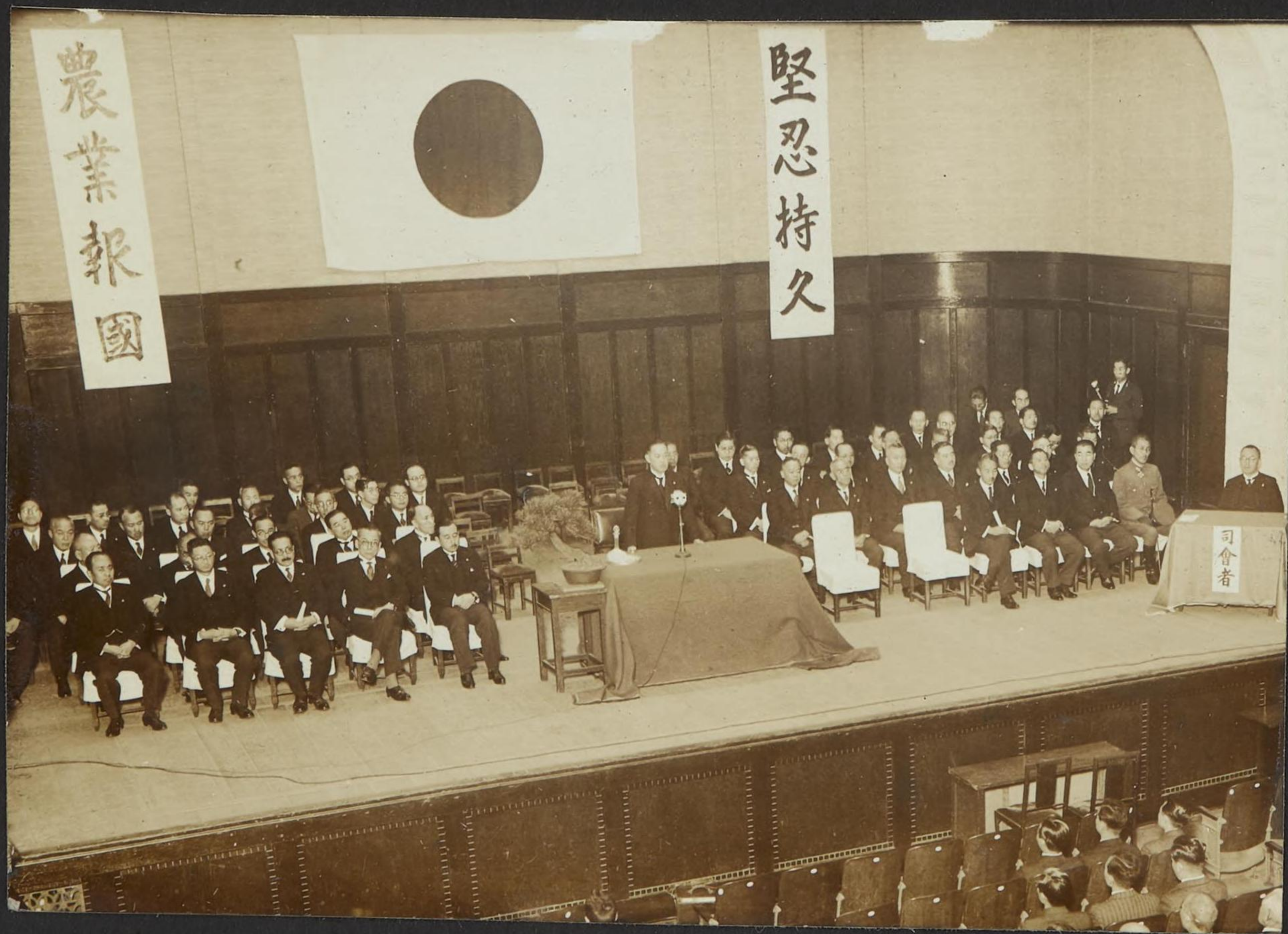
◎梁院長の訣別宴

中國維新政府梁行政院長は二十三日東京驛發燕號で西下する二十一日午後六時から帝國ホテルに朝野の名士を招待、訣別の宴を開いた。寫眞は帝國ホテルにて

◎首相日滿支經濟懇談會出席者招待
近衛首相は日滿支經濟懇談會に出席の一行を
廿二日正午首相官邸に招待、午餐會を催した
寫眞は首相官邸にて



◎航空工女隊結成式
大日本航空工女隊の結成式は午前十時から東京市



◎航空工女隊結成式
 大日本航空工女隊の結成式は午前十時から東京市
 赤工製扇館にて挙行された。写真は結成式
 ◎曲辰農業報國聯盟大会
 全国的に曲辰農業報國運動を展開し戦時下曲辰山溪
 生産力増進曲辰山溪家庭生活安定に邁進すべく
 結成した曲辰農業報國聯盟大会は、山日本青
 年館に於て午前十時から開催された。写真は曲辰相模

板垣陸相は二十三日茨城縣内原の青少年移民
訓練所視察を行つた
◎陸相移民訓練所視察



◎日本赤十字会
東京の児童会連合会からアメリカの児童遊園
協会へ贈る手紙の贈呈式は午前十時から比谷
公園の三月の三日の眼のお座敷に於て
午後三時からは贈呈式
の振舞ひの席が有る

◎陸相移民訓練所視察
 板垣陸相は二十三日茨城縣内原の青少年移民
 訓練所視察を行つた
 眞は板垣陸相の視察

「お断り」ハルブ節約の國策の線に沿つて
 同盟寫眞 内地ニュース 第四一六號

◎早大對慶應ラグビー

（東京）十三年十一月廿四日
 開東七大學ラグビー戦の花早大對慶大の試合は
 廿三日午後二時半から神宮競技場に於いて
 開始された
 眞は前半慶大陣三ヤード線附近で早大角
 谷より田中にパスする處ダツクルするは慶大
 財部



同盟寫眞

内地ニニス

第一一三號

（東京）十三年十一月二十四日
臨時下第二回目に迎へる通常議會は來月二十
四日の召集日に依つて開幕されるがこれに備
へて臨時守衛百四十四名を必要とするので二
十四、五兩日に亘り院内で採用試験をする

寫眞は身体検査

火災警防演習

來る廿六日から三日間行はれる第二次防空訓
練を前に警視廳消防部では廿四日一燒夷彈下
の帝都を護れんと都下全消防署、消防組を總
動員、消防組独自の立場から非常時火災警防
演習を行つた。寫眞はおもかけ橋にて川岸防
衛司令官（右）安倍警視總監（左）の視察



お断りバルブ節約の國策の線に沿つて
同盟寫眞 内地ニニス 第一一三號

◎日獨文化協定調印

（東京）十三年十一月二十五日

目的とする日



一 お断り一 パルプ節約の國策の線に沿つて
 同盟寫眞 内地ニユース 第一一四號
 ◎日獨文化協定調印
 (東京) 十三年十一月二十五日
 日獨兩民族の文化的提携増進を目的とする日
 獨文化協定は防共協定締結二周年記念日たる
 廿五日午前九時卅分霞ヶ關外相官邸に於いて
 有田外相とオット駐日獨逸大使との間に調印
 を了した。寫眞は歴史的調印 (左有田外相右
 オット獨大使)

◎防共協定記念國民大會
 日獨伊三國の防共協定成立を記念する防共協
 定記念會主催國民精神總動員中央聯盟、東京
 府、市後援の「防共協定記念國民大會」は日
 獨防共協定締結二周年記念日の意義深き廿
 五日午後二時から小石川の後樂園スタヂアム
 で長くも開演參謀總長宮殿下の台臨を仰ぎ盛
 大に舉行された。
 寫眞は一、台臨の閉院宮殿下と全景



同盟寫眞

内地ニユース

第一一三號

◎防共二周年記念祝賀會

(東京)十三年十一月二十六日

防共協定成立二周年記念日を迎へ獨逸大使館



同盟寫眞 内地ニユース 第一一三號
 ◎防共二周年記念祝賀會
 (東京) 十三年十一月二十六日
 防共協定成立二周年記念日を迎へ獨逸大使館
 では廿五日午後八時からオット大使官邸に畏
 くも秩父宮殿下並に閑院宮殿下の台臨を仰ぎ
 同大使主催の盛大な祝賀晩餐會を催した
 寫眞は台臨の秩父宮(御右側中央)閑院宮(御左側中央)兩殿下
 一、有田外相の國際放送

◎日本刀展開かる
廿六日から十二月十日迄上野美術館で開かれ
る文部省後援第三回日本刀展覧會は時局を反
映して例年に比し出品數多く作柄も一段の進
境を見せてゐる。
寫眞は觀覽の竹下大將



お断り、バルブ節約の國策の線に沿つて
同盟寫眞 内地ニユース 第四本誌



同 盟 爲 眞 一 大 陸 内 地 三 二 一 式 策 の 線 に 沿 っ て
 一 東 京 一 十 三 年 十 一 月 二 十 六 日 蒙 開 拓 青 少 年
 大 陸 の 天 地 に 活 躍 を 續 け て ゐ る 滿 洲 開 拓 青 少 年
 義 勇 軍 の 數 は 已 に 五 ヶ 所 二 萬 五 千 餘 名 だ け だ
 之 等 の 健 氣 な 青 少 年 出 現 を 待 望 し て 身 廻 り 財
 切 の 面 倒 を 見 る 女 性 の 出 現 を 待 望 し て 身 廻 り 財
 團 法 人 移 住 協 會 の 手 通 じ て 募 集 中 の 大 陸 の
 母 達 の 内 地 訓 練 所 入 所 式 は 廿 六 日 午 前 十 時 か
 ら 澁 谷 區 千 駄 谷 五 丁 目 聖 和 學 苑 に 於 て 行 は れ
 た 眞 入 所 式

同盤 運動二千六 七百七

蹴球 関東大学リカ(一部)

慶應社 赤印大生短三所より神宮

河内県は借勝の慶應チーム

木山ヶ一 全日本決勝

慶應社 関西信楽より年短三所目島

河内県は借勝の慶應の攻撃

一点を全長制那



河原 内地 三ノ六 十一月廿七日

防空練習に「赤十字隊」も参加

青森の住吉、快晴に晴れた防空訓練不
日国の世もは年系十所を不案れ有鳴るし
と其に赤十字隊は三日の防空訓練に
下谷区は74所の防空隊初め試み
赤十字隊 赤十字隊 七八人
知見を者買つて一列に並ぶが防空用水を午後
と知るのは目をいはい



「お断り」バルブの國策の線に於つて

同盟寫眞 内地ニユース 第二十四號

◎第二次防空訓練終る

(東京)十三年十一月廿八日

防空訓練最終日の廿八日は午前五時四十分突如未だ明けやらぬ曉闇を衝いて南北關東地區に敵機襲來、忽ち第六回目の空襲サイレンが鳴り進り完璧の燈火管制の闇を護つて殆ど眠もやらぬ防護員家庭防火群は霜をふんで出勤、猛烈な曉の防空訓練が展開された。

寫眞は一、吉原の防火演習
一、末次内相、小橋市長、安倍警視總監等の
視察(於銀座四丁目)





◎雪に碎けた旅客機
廿六日午前十一時五十八分仙台飛行場を出發
行方不明となつた日本空輸定期旅客機は廿七
日午前六時半青森市東方六里余の日和澤に機
体が大破し搭乗者四名即死してゐるのを發見
した。寫眞は墜落現場

同 盟 寫 眞 一 〇 戰 線 視 察 を 終 へ て 下 條 總 裁 歸 る 第 三 一 六 號
 一 東 京 一 十 三 年 十 一 月 廿 九 日
 去 六 日 東 京 を 出 發 北 支 滿 洲 に 皇 軍 武 勳 の あ
 と を 尋 ね 各 戰 線 の 實 地 調 査 を 行 っ た 下 條 賞 勳
 局 總 裁 は 廿 八 日 午 后 四 時 十 五 分 羽 田 着 飛 行 機
 で 歸 京 し た 。 寫 眞 は 自 宅 に て





◎お芋を節約致しませう
 一お芋の一箇は血の一滴―大藏省專賣局では
 こんを標語を掲げてこれから迎へるお芋のシ
 ーズンに一十本食べるところは七本に
 て三本は國策のため節約して下さい―と眞劍
 に叫んでゐる、正に女性の恐慌來と云ふとこ
 るだがこのお芋は酒精の原料となり戦時に缺
 くべからざる貴重品となるからだ。
 眞實はアルコールになる生芋の水洗ひ



同 盟 断 り 一 ハ ル プ 節 約 の 國 策 の 線 に 沿 っ て
 一 お 断 り 一 内 地 ニ ユ ー ス 第 一 一 ニ 号
 ◎ 秩 父 丸 に 多 彩 の 船 客
 一 東 京 一 十 三 年 十 一 月 廿 九 日
 郵 船 秩 父 丸 は 前 駐 英 大 使 吉 田 茂 氏 、 前 秘 露 首
 相 リ ヴ ア ・ ア ゲ ロ 博 士 、 鶴 見 祐 輔 氏 、 カ ト リ
 ツ ク 日 本 代 表 山 本 信 次 郎 少 將 、 笠 井 重 治 代 議
 士 等 始 め 内 外 船 客 四 百 三 十 三 名 を 滿 載 し 廿 九
 日 午 前 六 時 ホ ノ ル ル か ら 横 濱 に 入 港 し た
 寫 眞 は 一 、 ベ ル 一 元 首 相 一 左 一 と 出 迎 へ の 駐
 日 ベ ル 一 公 使 一 右 一 二 、 笠 井 重 治 氏 三 、 吉
 田 茂 氏 四 、 山 本 信 次 郎 氏

同盟寫眞

内地ニユリス

第一一四号

◎山田耕作氏歸る

東京一十三年十一月三十日

戦争音楽の樹立を目指して現地へ出發した山

田耕作氏は約二ヶ月に亘る從軍を終へ廿九日

午後三時二十五分東京驛着歸京した

寫眞は東京驛にて

◎二協定祝賀記念大會

日獨伊親善協會では廿九日午後五時半から二

協定締結の喜びを表はすため芝公園紅葉館で

祝賀記念會を開催した

寫眞は獨大使の挨拶

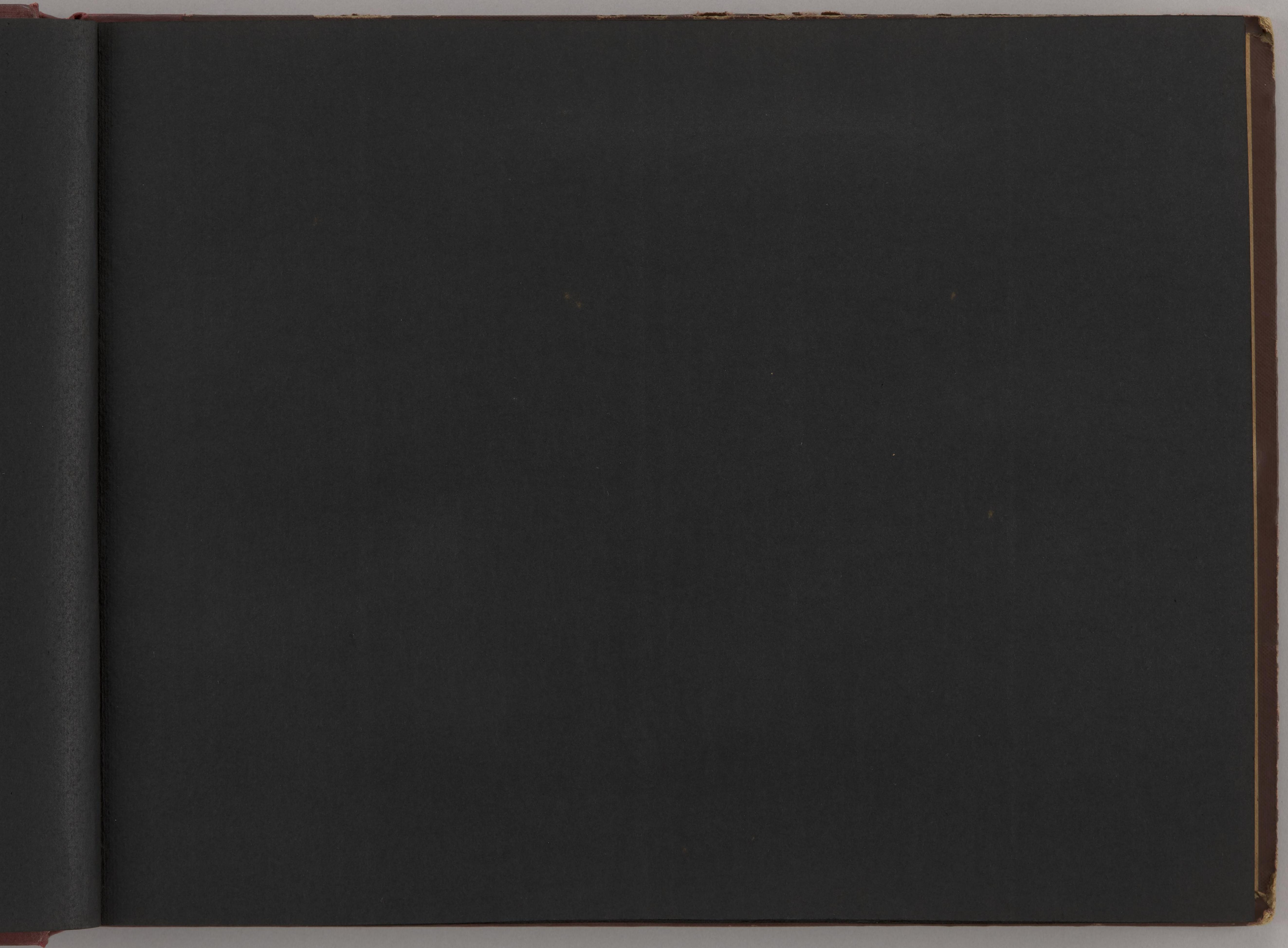


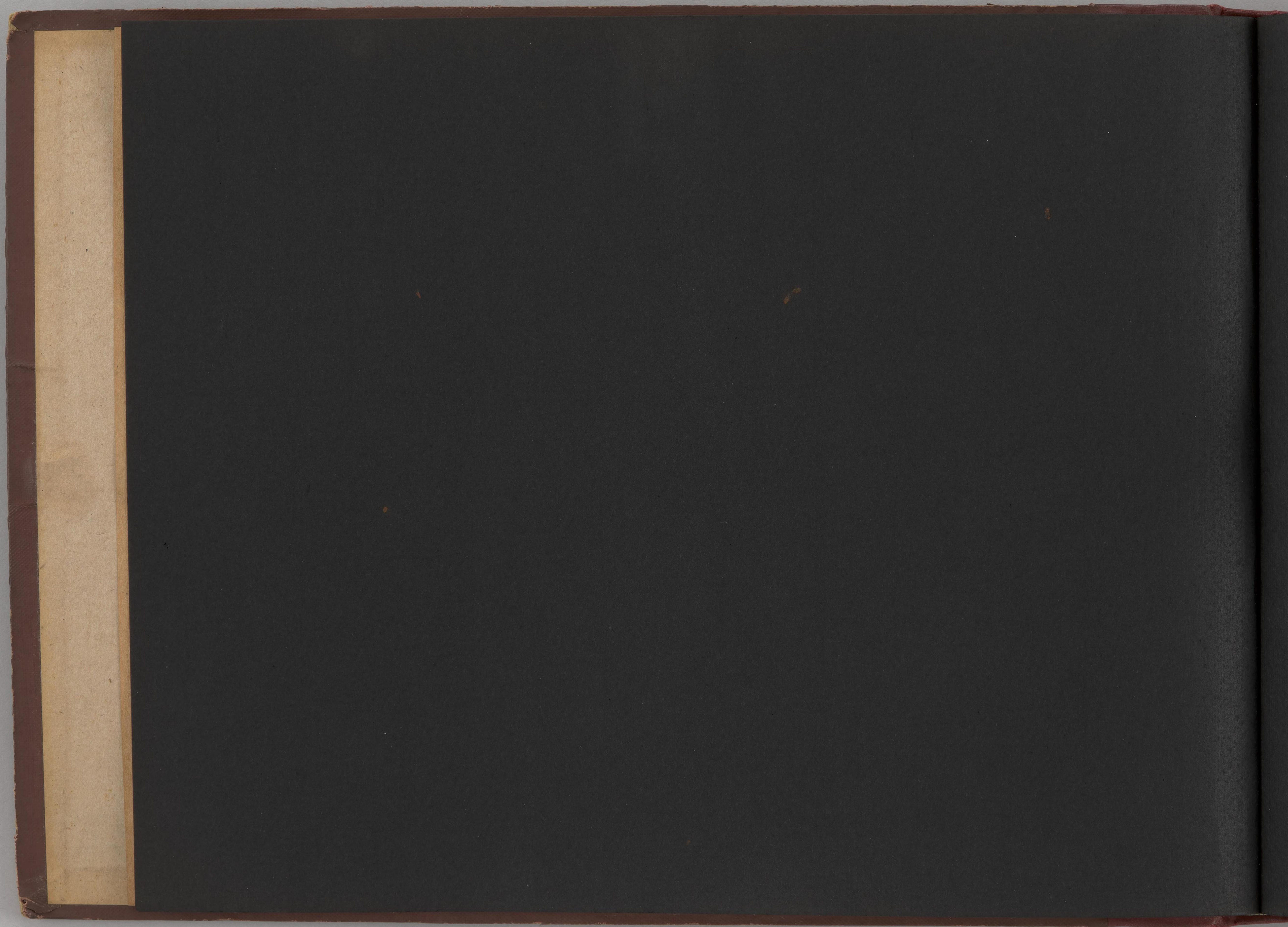
◎◎長良川の鵜飼を萬博へ
日本獨特の風流な魚獲として世界に知られる
日良川の鵜飼が來年二月十五日から二百八十
八日間巨つてアメリカのサンフランシスコ
に入開催される萬國博に出演することになつた
に開催される萬國博に出演することになつた
行入は岐阜市長良川畔に在る宮内省式部
職主膳課鵜匠頭山下幹司氏である
馬眞は山下氏と萬博日本館の池

PAVILION NIPPON

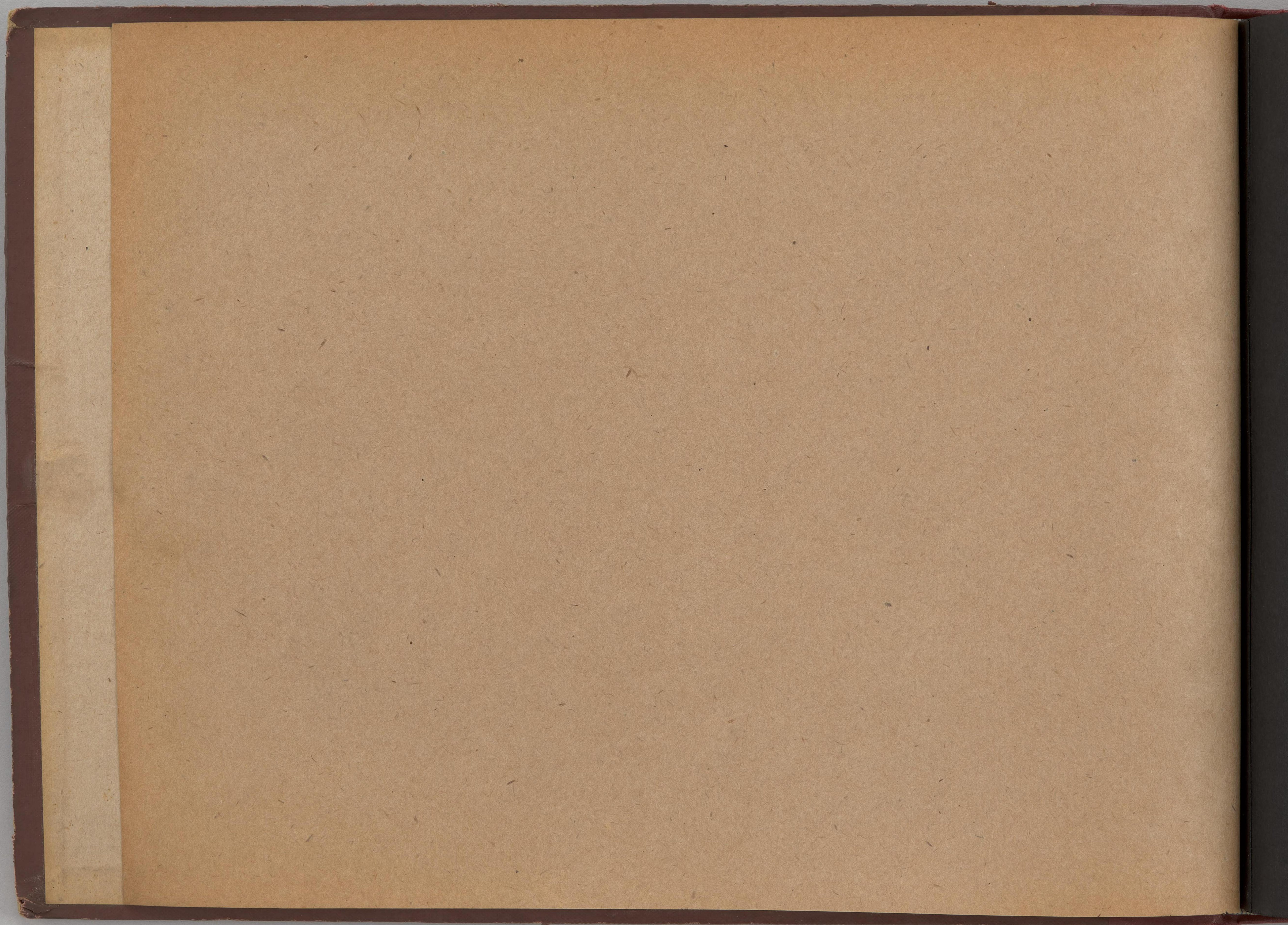
GOLDEN GATE INTERNATIONAL EXPOSITION 1938

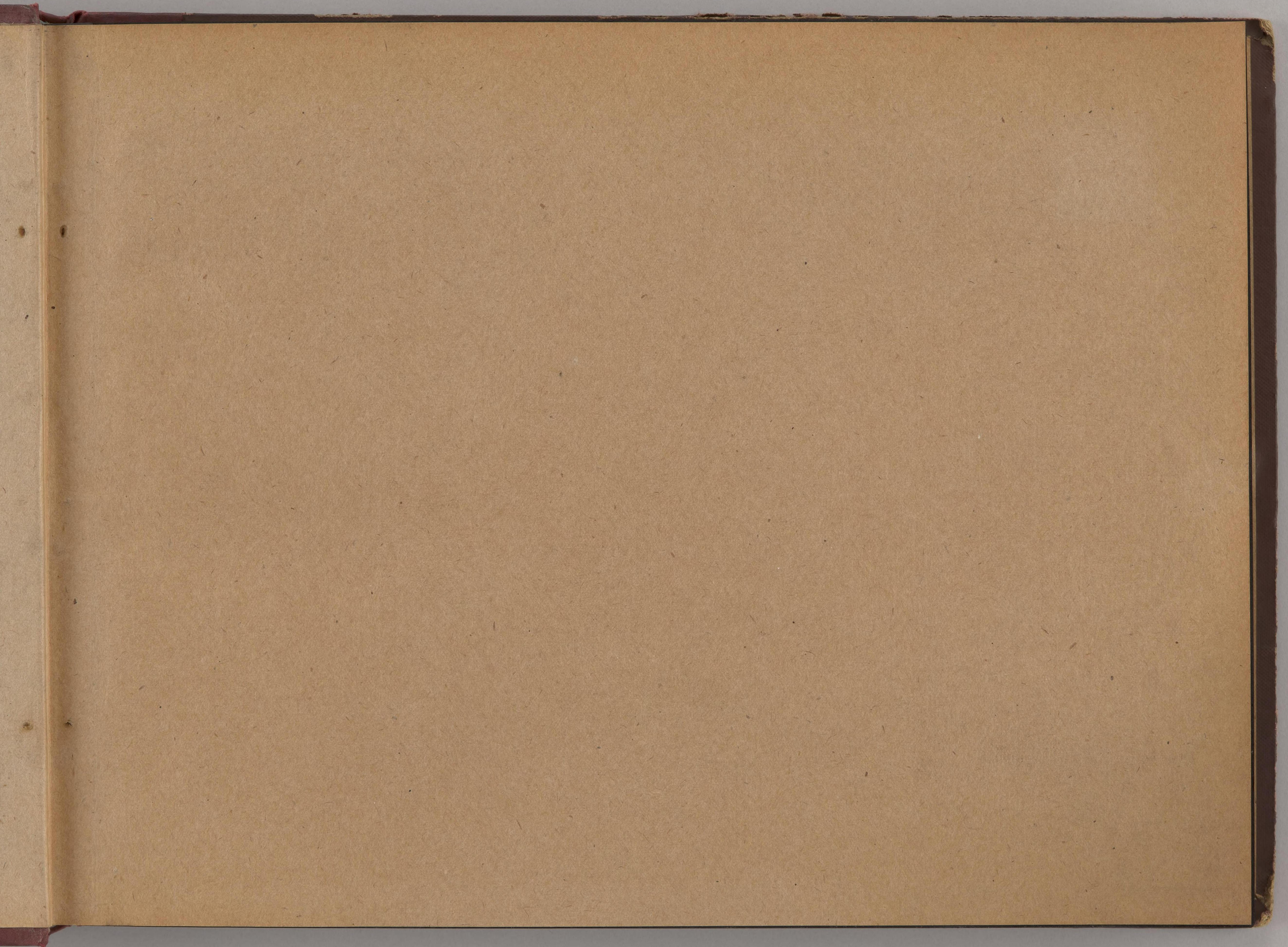












53
52

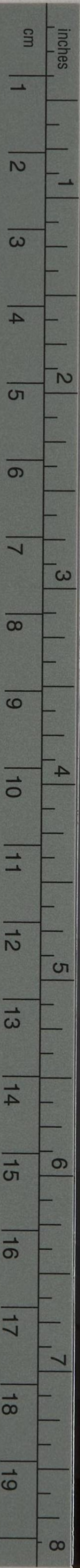


Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black